

県立保育専門学院の現状

1 学院の概要

昭和31年6月 県立河北農業高校（倉吉市上井）の一部を仮校舎として開校
 昭和52年4月 現校舎（倉吉市南昭和町）に倉吉総合看護専門学校とともに新築移転
 佛敎大学通信教育学部と提携し、幼稚園教諭第2種免許取得が可能
 平成4年 4月 ホームヘルパー養成研修2級課程取得可能（H22～障害児・者ヘルパー）
 平成17年 創立50周年記念式典
 平成23年3月現在 卒業生延べ約2,400名

2 職員等の状況

(1) 専任職員

院長	次長 (兼)	教務	研修 担当	事務 (兼)	計
1	1	4(1)	1	1	8(1)

- ・(兼)は本務が倉吉総合看護専門学校
- ・教務の(1)は非常勤職員で内数

(2) 外部講師

鳥取大学	鳥取短期大学	その他	合計
11名	1名	22名	34名

3 学生の状況

(1) 現在の学生の状況（平成23年11月1日現在）

区分	定員	在学生数	備考
1学年（56回生）	50名	47名	入学者47名、留年（55回生）2名 退学（自己都合）2名
2学年（55回生）	50名	43名	入学者46名、復学1名、留年2名、退学（自己都合）1名 2学年進級者44名 休学1名（2年次）
計	100名	90名	

(2) 入学生の状況

入学年度	募集 定員	応募 人数	受験 者数 (A)	合格 者数 (B)	倍率 B/A	入学 者数	内 訳						
							県内	地域別			県外		
								東部	中部	西部		比率	
H18年度	50	67	67	50	1.3	42	38	20	10	8	90.5	4	
H19年度	50	51	50	44	1.1	37	36	20	6	10	97.3	1	
H20年度	50	49	47	44	1.1	40	36	20	8	8	90.0	4	
H21 年度 (54)		50	46	39	38	1.0	27	23					
	追加	10	14	11	10	1.1	9	8					
	合計	50	60	50	48	1.0	36	31	18	8	5	86.1	5
H22 年度 (55)	前期	35	68	66	35	1.9	33	29					
	後期	15	27	25	15	1.7	13	12					
	合計	50	95	91	50	1.8	46	41	20	14	7	89.1	5
H23 年度 (56)	前期	35	66	64	35	1.8	33	31					
	後期	15	32	30	15	2.0	14	13					
	合計	50	98	94	50	1.9	47	44	13	19	12	93.6	3

(3) 佛教大学通信教育学部受講状況

入学年度	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23
入学者数	47	42	37	40	36	46	47
通信受講者数	40	33	30	32	32	34	40
受講率(%)	85.1	78.6	81.1	80.0	88.9	73.9	85.1

(4) 卒業生の就職状況

区分	県内						県外						未就業・家事手伝い等	合計	備考		
	保育所	保育所以外の児童福祉施設	幼稚園	社会福祉施設	進学	一般企業・その他	小計	保育所	保育所以外の児童福祉施設	幼稚園	社会福祉施設	進学				一般企業・その他	小計
19年度	27	2	5			1	35	2					2	4		39	
20年度	28	3	2			1	34	2						2	1	37	
21年度	21	4	2	1		1	29	2				1		3	1	33	
22年度	21	6				1	28	6		1			1	8	1	37	

*未就職には、本人希望を含む

4 必要経費

入学金	5,550円
授業料等	授業料 月額9,400円 (2年間で225,600円) *佛教大学通信教育学部を受講する場合(追加経費) 600,000円+スクーリングの旅費・宿泊費 スクーリング:夏休み3泊4日×2回(1年次、2年次) 冬休み1泊2日×1回(2年次のみ)
その他	1年次19万円 2年次21万円 教科書、実習、教材、研修旅行及び自治会費等

5 支援制度

公的奨学金制度・・・「各種学校」のため対象とならない

授業料の減免制度・・・あり(全額免除:225,600円、半額免除:112,800円)

	H20	H21	H22		H23	
			前期	後期	前期	後期
全額免除	29	19	7	12	14	12
半額免除	4	9	23	19	15	17
計	33	28	30	31	29	29

6 修得単位数

区分	教養科目	必須科目	選択科目	合計		
保育専門学院	開設	10	53	28	91	指定基準 79単位以上
	最低	8	53	9	70	指定基準 68単位以上
幼稚園教諭	基準	8		31	39	短期大学士以上の基礎資格が必要(4大で2年在籍、62単位以上)
	佛大	16		51	67	

7 施設運営の状況

[単位：千円]

区 分		平成20年度	平成21年度	平成22年度	
学生数	学 生 数	77人	73人	87人	
	対平成20年度比率	100.0%	94.8%	112.9%	
収 支	収 入	授業料 (円/人・月)	5,377 (9,400)	5,480 (9,400)	7,121 (9,400)
		入学料 (円/人・初年度)	222 (5,550)	200 (5,550)	255 (5,550)
		入学試験手数料 (円/人・回)	156 (2,600)	247 (2,600)	255 (2,600)
		証明書等発行手数料 (円/件)	8 (420)	4 (420)	5 (420)
		行政財産使用料	834	958	993
		物品売払収入	0	0	50
		雑入	2,864	2,456	3,257
		合計	9,461	9,345	11,936
	支 出	人件費	44,308	40,978	37,157
		施設管理費	14,867	15,107	12,972
		事業費	21,615	23,023	21,821
		合計	80,790	79,108	71,950

- [注釈]
- ・人件費は、正職員（県職員）及び休職職員の代替臨時的任用職員に係るもの
 - ・施設管理費は、普通旅費、需用費、役務費、委託料、備品購入費
 - ・事業費は、部外講師報酬等のほか、保育・幼児教育の質の向上強化事業
 - ・収支の差額（約7千万円）は一般財源による負担

8 施設の状況

区分	室名	利用		備考
		専用	看護と共用	
1 階	図書室		157.51	
	院長室	35.25		
	小会議室		33.75	
	栄養実習室		101.25	
	倉庫		35.25	研究準備室を倉庫に転用
	コンピュータ室		35.25	休養室から転用
	休養室		33.75	湯沸室（宿直室）を転用
	便所		35.25	
	階段		30.75	
	ホール等		52.13	
	廊下		130.33	
	小計	35.25	645.22	
階 2	更衣室		69.00	狭いため、2人で1個のロッカー
	小計	0.00	69.00	
3 階	講師控室	33.75		実習室を転用
	絵画工作室	119.63		
	教室（1学年）	69.00		
	情報処理室		67.50	教室兼心理実験室を転用
	教室（2学年）	67.50		
	教務室	33.75		研究室を転用
	レッスン室（11）	46.42		4.22㎡の実習室を転用
	音楽室	157.96		
	倉庫	20.02		音楽準備室
	機械室	4.22		
	便所	35.25		
	階段	30.75		
廊下	118.60			
	小計	736.85	67.50	
そ の 他	講堂		482.94	
	大研修室		210.55	
	小計		693.49	
	合計	772.10	1,475.21	

9 教育の特色

- ①「保育士として働く」という明確な目標を持った学生集団
- ②1学年50人で、きめ細やかな学習・生活指導が可能
 - ・学習指導内容等を学生の理解状況等にあわせて、臨機応変に変更・改善が可能であり、必要に応じて、学生個別指導、面談が可能。
 - ・カリキュラム、教科目の授業日程が単一で開講することができること。
 - ・保育実習、教育実習等が、全学生、同時期に実施が可能であること。
※実習園の確保が可能であること。
- ③教授内容を「保育士として」必要な知識やスキルに特化した授業
アカデミックな内容より保育実務を重視
保育現場の実務経験者を積極的に講師として活用
※大学、短大のように論文や研究実績を重視した講師選任基準ではない。
反面、学生指導については不慣れな講師となる。
- ④現場を重視した教授内容、充実した保育実習
 - 保育実習Ⅰ（標準）：児童養護施設等 10日間
 - 基礎実習（独自）：近隣保育所の協力により見学、事前指導、グループ実習等
 - 保育実習Ⅰ（標準）：保育所等 10日間
 - 保育実習Ⅱ（標準）：保育所等 10日間
 - 保育実習Ⅲ（標準）：児童養護施設等 10日間Ⅱ又はⅢのいずれかを選択
乳児実習（独自）：保育所で3歳未満児クラスで実習 5日間
子育て支援センター（独自）：支援センター 3日間
その他、入学当初に全学生を対象に児童施設や保育所、幼稚園等を見学参加することに加え、幼稚園教諭免許を目指す学生は幼稚園実習（20日間）、障がい児ヘルパー取得を目指す学生は、障がい施設等で4日間の実習を実施。
※全学生が保育士資格を目指すことから、カリキュラムの編成、日程調整が可能。

10 運営上の課題

- ①指定保育士養成施設設置基準を満たしていない。（H21国の監査指摘）
 - ・教科目の専任担当教員の配置 基準：6人 現行：4人
 - ・専任担当教員の研究室が未整備
- ②施設設備が狭隘化しており、学生の学習環境として不十分。
 - ・保育演習室等が整備されていない。
 - ・講義教室が不足しており、複数教科の同時実施ができない（教科を選択できない）
 - ・学生の自習室、休憩スペースがない。
 - ・体育館が狭く、体育の十分な事業ができないため他施設を利用
 - ・従来のグラウンドや学生駐車スペースに中部療育園、倉吉総合看護専門学校が増築が行われ、グラウンドがない。
 - ・学生寮に冷房設備がない。また、暖房についてもボイラーの集中管理のため休日、夜間10時以降は利用できない。 など
- ③幼稚園教諭2種免許の取得
保育専門学院は、幼稚園教諭の養成機関でないことから、幼稚園教諭免許取得希望者は、佛教大学通信教育課程に入学し、保専在学中に必要な教科目を履修し、免許取得しており、学生・保護者の物心両面の負担が重い。
 - ・幼児取得に2年間で約60万円必要（スクーリング旅費等別）
 - ・保専は学校教育法上は各種学校（佛教大学は2重学籍不可）。
そのため各種奨学金の対象外
 - ・幼保一体化の検討が進む中で、採用試験の応募条件として、幼稚園教諭免許を求める事業所の増加